

NASEF JAPAN

全日本高校eスポーツ選手権

VALORANT部門

ルールブック

1	序文	2
2	本大会の構造	2
3	予選	3
4	決勝大会	4
5	ゲームのルール	6
6	選手の実行	9
7	ルール意図	11

第3版 2023年9月12日

2023/9/6 運営に関する表記内容を変更しました。

2023/9/12 9月6日のVALORANT Patch Note 7.05のリリースに伴い、

大会で使用する使用マップを現行に即したものに変更しました。

新型コロナウイルスの影響により運営内容等が変更となる場合がございます。

また、選手の皆さまにおかれましては感染予防対策に取り組み大会に参加いただきますようお願い申し上げます。

1 序文

特定非営利活動法人北米教育eスポーツ連盟 日本本部が主催する「NASEF JAPAN 全日本高校eスポーツ選手権」のVALORANT部門（予選及び決勝を含めて以下、「本大会」）の公式ルール（以下、「本ルール」）は、本大会に参加申請を行った全チーム、チーム管理者、その他本大会に関与する関係者の全員に適用されます。

本ルールは、本大会における競技の公平性、及び健全な大会運営を担保するため、主催：特定非営利活動法人北米教育eスポーツ連盟 日本本部及び選手権事務局（以下、「選手権事務局」）によって制定されています。

2 本大会の構造

1) スケジュール

- エントリー受付： 2023年9月6日（水）～ 11月21日（火） 23:59
- 予選： 2023年12月17日（日） 09:30-18:30、24日（日） 13:50-17:50
※同じ学校から複数チーム出場される場合、
出場チーム分のPCが無いなど同じ時間帯で試合が組まれた場合、
参加出来ないチームが発生しますのでご注意ください。
※全開催日、どの時間帯に試合が組まれても参加出来るようお願いします。
※全ての対戦において、日付・時間の要望はお受けできません。
なお試合に参加できない場合は失格になりますのでご注意ください。
- 決勝大会： 2024年2月予定
※日時が決定次第、公式HP、Discord、メールにてご連絡いたします。
- 会場： （予選）オンライン上での対戦となります。
（決勝大会）オフライン（東京都内近郊にて実施予定。会場は未定）

2) 使用タイトル

- ゲームタイトル： VALORANT（以下「VLという」）
- プラットフォーム： PC

3 予選

1)参加可能チーム数

受付期間内にエントリーをした最大256チームが参加可能

2)大会進行形式

① トーナメント形式

シングルエリミネーション形式を採用

② トーナメントの組み分け方法

選手権事務局にて参加チームをランダムに組み分け、トーナメントに落とし込むものとします。

③ 大会運営システム

選手権事務局とのコミュニケーションはDiscord（ディスコード）を使用する。

大会進行及び諸事項の連絡に使用します

※Discordとは・・・ボイス、ビデオ、テキストのコミュニケーションサービス。無料。

3)対戦形式

① マッチ内容

Bo1（Best of 1、1戦中1勝する）にて対戦を行います。

② 対戦ロビー

・サーバー：Tokyo1

・モード：スタンダード

・トーナメントモード:オン

・オーバータイム:2勝差で勝利

・チート：オフ

その他設定はデフォルトとします。

③ マップの選択肢

マップ選択はマッチ開始1時間前までに選手権事務局がランダムに決定します。

使用されるマップ

・サンセット

・ブリーズ

・アセント

・ヘイヴン

・バインド

・スプリット

・ロータス

以上の7マップから選択されます。

④攻守の決定

Discord上のダイス機能を使用し、数が多いチームがアタッカー、少ないチームをディフェンダーとします。

4)使用機材

予選にて使用する機材は、各チーム・個人にて用意した機材を使用するものとします

5)ソフトウェアとその使用

ボイスチャットツール、自チーム試合の録画を目的とした使用は制限しない

チートツールは使用不可とする

その他のソフトウェアの使用に関しては、VLの規約に則ること

Discord上で一切の配信・画面共有を禁ずる

4 決勝大会

1)参加可能チーム数

予選の上位4チーム

2)大会進行形式

トーナメント形式

シングルエリミネーション形式を採用する

3)対戦形式

① マッチ内容

準決勝はBo1 (Best of 1) にて対戦を行います

決勝戦はBo3 (Best of 3) にて対戦を行います

② 対戦ロビー

・サーバー：Tokyo1

・モード：スタンダード

・トーナメントモード:オン

・チート：オフ

・オーバータイム:2勝差で勝利

その他設定はデフォルトとします。

③マップの選択肢、攻守の選択

準決勝(BO1)

1.じゃんけんをおこない、勝利したチームをチームA、敗北したチームをチームBとします。

2.チームAが1つのマップをBANします。

3. チームBが残ったマップから1つのマップをBANします。
4. チームAが残ったマップから2つのマップをBANします。
5. チームBが残ったマップから2つのマップをBANします。
6. チームAが残りのマップからマップを選択します。
7. チームBがサイドを選択します。

※BAN=使用不可マップを指定すること

決勝大会 (BO3)

じゃんけんをおこない、勝利したチームを「チームA」、敗北したチームを「チームB」とします。

1. チームAが1マップ選択し、BANを行う。
2. チームBが1つのマップ選択し、BANを行う。
3. チームAが最初に行う試合のマップのPickを行う。
4. チームBが最初のマップにおけるサイドを決定し、2番目の試合のマップのPickを行う。
5. チームAが2番目のマップにおけるサイドを決定する。
6. チームAが1マップ選択し、BANを行う。
7. チームBが1つのマップ選択し、BANを行う
8. チームAが残りのマップにおけるサイドを決定する。

※BAN=使用不可マップを指定すること

4) 使用機材

決勝にて使用する機材は選手権事務局から提供された機材以外は各チーム・個人にて用意した機材を使用するものとします

5) 選手もしくはチームが所有する機材

選手は、自分もしくはチームが所有する以下のカテゴリに含まれる機材を対戦エリアに持ち込み、これらを本大会で使用することができます

- ① PCのキーボード
- ② PCのマウス及びコードホルダー
- ③ マウスパッド

対戦エリアでは、選手権事務局が提供したものではないヘッドセット、イヤホン及びマイクを選手が持ち込み、使用、または着用することを一切禁止します

選手権事務局は独自の裁量により、トーナメントのセキュリティ、安全性、運用上の効果や効率などに関する理由で、あらゆる個別の機材の使用を禁止する権限を保持します

6) 選手の服装

選手権事務局が指定した服装を着用すること。ただし、顔が隠れるようなマスクや帽子の着用は禁止。

また、ハーフパンツやかかとのない靴、かかとのつぶれた靴などは禁止です

7)ソフトウェアとその使用

選手が許可なく自前のソフトウェアをインストールすることは一切禁止です
いかなる理由であれ、選手権事務局のPCに必要なでない機材、例えば携帯電話、フラッシュドライブ、MP3プレイヤーなどを接続することを禁止します

8)アカウント

選手は、自前のVLアカウントを用意する必要があります
ゲーム内選手名は、公序良俗、著作権、肖像権、選手権事務局または第三者の知的財産権、プライバシー、名誉その他の権利または利益を損害しないものである必要があります

9)オーディオ・コントロール

選手は選手権事務局が指定した最低設定以上に、音量レベルを保つ必要があります。

選手権事務局は、選手の音量が低すぎると判断した場合、音量を調節するよう要請する権利を保有します。

ヘッドフォンは選手の耳に直接的に装着され、ゲームが行われている間その状態が保たれる必要があります。

いかなる方法であれヘッドフォンの装着を妨げることや、帽子、スカーフその他の衣装を含む何らかの物体をヘッドフォンと耳の間に挟むことは禁止します。

5 ゲームのルール

1)用語の定義

① ラウンド

ラウンドとは、本大会における勝敗が決する最小単位のことを指します。

・マッチ

マッチとは一方のチームが 13 ラウンド勝利するまで行われる対戦の一区切りのことを指します。ただし一方のチームが 13 ラウンド勝利した時点で、相手チームとの勝利数の差が2ラウンド未満の場合は、2ラウンド以上の差がつくまでラウンドは継続します。(オーバータイム)

・チームの棄権

・選手権事務局の判定による勝敗の決定

② 対戦

いずれかのチームが、総ゲームの過半数を勝利するまでプレイされる一連のゲームのことを指します
(例：1戦中1勝する (Bo1)、3戦中2勝する (Bo3) など)

勝利チームはトーナメント上位の対戦に進出します

③ 故意ではない切断

ゲームクライアント、プラットフォーム、ネットワーク、又はPCの問題や不具合に起因して、ゲームの接続が切れた状態

④ 故意による切断

選手の行為（例：ゲームを終了したなど）によって、ゲームの接続が切れた状態
選手の故意に関わらず、切断に至る選手の行為一切が故意とみなします

⑤ サーバークラッシュ

ゲームサーバー、あるいは会場のインターネット不安定性の問題により、ゲームの接続が切れた状態

2)対戦用のパッチ及びサーバー

本大会は、Tokyo1サーバーにてプレイされます

したがって、すべての対戦において、現状の日本の最新パッチが使用されます

3)新規エージェント、新規マップの制限

ライブパッチで新規エージェントが追加されてから14日間、新規マップが追加されてから4週間は
それぞれの間エージェントとマップは使用禁止とします。

4)対戦ルール

カスタムルームを作成し、対戦を実施します。

カスタムルームの招待の関係上、選手権事務局のアカウントとフレンドになっていただく必要があります。

フレンドを送信する選手権事務局のアカウントについては、事前に大会Discordにて案内をさせていただきます。

各自で対戦ルームを作成してプレイすることは、選手権事務局からの指示がない限り一切認められません。

また各チームは6名以上の選手を対戦ルーム内に参加させてはいけません。

5)対戦の開始

対戦する両チームの10人の選手全員が対戦ルームに揃い、試合開始時間になったら、両チームの選手は対戦ロビー内のチャット機能を用いて相手チームが準備完了かどうかの確認をお互いに取り合えるものとする
双方の確認が取れていない状態で、選手権事務局はゲームを始めてはならないものとする。

双方の確認が取れた後、試合開始予定時刻あるいは試合開始時刻から5分以内に選手権事務局は対戦を開始するものとし、5分以内に相手チームが準備完了を出来なかった場合、当該チームは失格とします。

6)ピックミス

ピックミスをした場合、相手選手がエージェントのロックをする前に対戦を中止し、大会Discordチャットにて選手権事務局に報告をおこなってください。

選手権事務局の確認が取れ次第、直に対戦ロビーを立て直し、ピックミスの直前までの状態を維持した上で進行を再開します。

7)選手の切断

ゲーム中に選手がサーバーから切断された場合、他の選手は以下のように対応すること

① 予選、決勝大会

選手が1人でもゲームから切断された場合、そのままゲームを継続するか、ゲームの進行の中断（以下、ポーズ）をすることができる

② ポーズ中の選手によるコミュニケーション

全対戦チームの公平を期すために、ポーズ中に選手がコミュニケーションを図ることは、

いかなる形であれ認められません

但し、ポーズの原因を特定し、回復するために指示された場合に限り、選手権事務局との会話が認められます

選手権事務局は、その単独の裁量によってポーズ中のチームの会話を許可し、ゲームの状態を話し合うことがあります

8) 決勝戦での選手によるタイムアウトの手続

① 決勝戦では各チームは、各マップにつき前半 1 回、後半 1 回、60 秒のタイムアウトを取ることができます。なお、タイムアウトの 60 秒は、ゲーム内システムにて取得する必要があります。

また、オーバータイムにおいては、各チームは追加のタイムアウトを 1 回与えられます。

② テクニカルポーズ

プレイヤーがプレイを続行することができない問題が発生した場合、当該プレイヤーは選手権事務局へ連絡することで、テクニカルポーズを取ることができます。

当該プレイヤーは、ポーズを要求する直後に Discord 内のテキストチャットにて選手権事務局にその理由を宣言しなければなりません。

テクニカルポーズ中は、機器を操作してゲーム内のエージェントをコントロールしてはいけません。

選手権事務局から別途指示がある場合を除き、テクニカルポーズ中は、プレイヤー同士、又はプレイヤーとコーチとの会話はテキスト、または音声等のコミュニケーションを一切禁止します。

9) 選手権事務局によるゲームの中断

① ゲームの中断

選手権事務局はその単独の裁量により、いつでもゲームの中断・ポーズをすることができます

② ゲームの再開

中断・ポーズ後、選手権事務局から全選手が通知を受け、持ち場についた時点で、選手権事務局がゲームの再開を行います

10) 対戦後の処理

勝利チームはリザルト画面のスクリーンショットを取り、大会 Discord 内の指定チャットにて報告してください

11) 遅刻

選手の全員が、対戦開始時刻までに対戦の準備を整えていない場合、

そのチームは各ゲーム 5 分経過時点で当該マッチを敗北とする。

遅刻しなかったチームは、当該対戦口ビ어의スクリーンショットを撮影し、大会 Discord 内にて報告してください

12) 選手の交代

ゲーム中の選手の交代は認められません

ただし、ただし、

- ・ 1 回戦、2 回戦のように対戦ごとに控えの選手と交代することは可能
- ・ Bo3 で実施する決勝大会はゲームごとに控えの選手と交代することは可能とします。なお、選手交代は前試合の対戦終了 5 分後までに選手権事務局に報告してください。

6 選手の行為

1) 競技に対する姿勢

各チーム、選手は本大会におけるすべてのゲームにおいて常に正々堂々と全力を尽くし、スポーツマンシップに則ってフェアプレイをしなければなりません

2) 本大会中の禁止行為

以下の行為は反則とみなされ、選手権事務局の裁量によりペナルティが科せられます。

① チームの降参、試合放棄（サレンダー）

スポーツマンシップに則り、選手は最後まで対戦を行うこと

② 共謀

共謀とは、相手選手に不利益を与えるための2人以上の選手及び、共謀者間の同意を指す
共謀行為の例として、以下があります

ア. 手抜きプレイ

イ. 共謀者と選手間における電子的あるいはその他による信号の送受信

ウ. 報酬その他の理由により意図的に負ける行為、あるいは他の選手にそうするよう働きかける行為

③ ハッキング

ハッキングとは、選手もしくはチーム、または選手やチームを代理する者によるVLに対する一切の改造を指します

④ 意図的なバグの利用

⑤ ゴースティング

観戦モニターを見る、または見ようとする行為及び、対戦が配信されている場合、配信を見る行為

⑥ 成り済まし行為

別の選手のアカウントを使用してのプレイ、誰かを他の選手のアカウントを使用してプレイするよう勧誘、誘導、奨励、または指示する行為

⑦ チートの手法

チート機器及び、チートプログラムの使用、またはこれに類似する、信号装置や手信号などのチートの手法の使用をすること

⑧ 故意による切断

適切かつ明示された理由によらない故意による切断

⑨ 選手権事務局、主催者、協賛社、合同会社ライアットゲームズ、VLに関する発言

選手権事務局、主催者、協賛社、合同会社ライアットゲームズまたはその関係会社、あるいはVLの利益に悪影響を与えないし与えようとする言動、ならびに他人への強制、支援

⑩ 冒涇及び差別的な発言

猥褻、無礼、下品、侮辱的、脅迫的、攻撃的、誹謗的、中傷的、名誉棄損となる、その他不快あるいは好ましくない言葉の使用、ならびに憎悪を煽る行為や差別的な行為の奨励または助長

⑪ 侮辱的な言動、行為

相手チームのメンバー、ファン、選手権事務局へ向けての、侮辱的、嘲笑的、破壊的あるいは敵対的な行為またはジェスチャー、ならびに他人への強制、支援

⑫ 攻撃的な行動

選手権事務局、相手チームのメンバー、観客への暴行、暴言

⑬ 秘密保持

選手権事務局、または合同会社ライアットゲームズもしくはその関係会社から秘密情報として提供された情報の開示

⑭ イベント会場への干渉（決勝）

照明、カメラ、その他のスタジオ内の機器への接触、干渉
また、椅子、テーブルその他会場内の設備の上に立つ行為

⑮ 不正な通信

選手権事務局の指示を無視した、すべての携帯電話、タブレットあるいはその他の音声認識及び、または通知音の鳴る電子機器の使用、また対戦中の自チーム出場選手以外とのeメールやチャット、SNSの使用

⑯ コーチング

対戦中に自チーム出場選手以外からコーチングを受けること

⑰ 選手権事務局の判断

選手権事務局の単独の裁量によって、選手権事務局が定めた本ルールに違反すると判断された行為、不作為、または振る舞い

⑱ 配信等の禁止

各プラットフォームでの配信、Discord等での画面共有行為

3) 本人確認

選手権事務局が選手に本人確認を要請した場合には、選手はその指示に従い、本人確認に応じる必要がある。なお、その際に本人確認が取れなかった場合にはペナルティを科す可能性があるものとします

4) ペナルティの付与

選手権事務局が、その単独かつ絶対の裁量によって、反則に当たると判断する行為を行った、またはこれを試みたことが判明した人物にはペナルティが科される。
ペナルティの性質及び程度は選手権事務局の単独かつ絶対の裁量により決定されるものとします。

5) ペナルティ

いずれかのチームメンバーが前述の規約に違反したことが明らかとなった場合、選手権事務局は、次のペナルティを科すことができます

- ① 口頭での警告
- ② ゲームの没収
- ③ 対戦の没収
- ④ 本大会への参加資格の剥奪

本大会への参加資格が剥奪されたチームは本大会に関連するあらゆる権利を喪失するものとします

〈公表権〉

選手権事務局は、選手がペナルティを受けた旨の決定を公表することができる。各チーム及び選手はペナルティを受けた旨を公表された場合に、これについて主催者、協賛社、合同会社ライアットゲームズ及びその親会社、子会社、関係会社、従業員、エージェント、及び業者に対して法的措置を取る権利を完全に放棄することに同意したものとみなされます

7 ルール意図

1)最終決定権

本ルール、選手の資格、本大会のスケジュール及び演出、ならびに不正行為に対するペナルティに関するすべての決定は選手権事務局が単独で行い、かかる決定は最終的なものとする
本ルールに関する選手権事務局の決定に対して上訴することはできず、損害賠償金又はその他の法的な救済を求める申し立ては行わないものとします

2)ルールの変更

本ルールは、本大会のフェアプレイ及び完全性を確保するために、選手権事務局によって、適宜、改正され、変更され、補足が加えられます

3)本大会の利益

選手権事務局は、常に本大会に関与する各関係者の利益を守るために必要な行為をする権限を有します。本ルールにおいて具体的な記載がないことをもとに選手権事務局は制約されることなく、また本大会に関与する各関係者の利益に反する行為をする団体等に対して、いかなる処分も自由に行うことができるものとします。